



日本筆記具工業会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-14

東京文具工業健保会館 1F

電話 03 (5829) 3848

FAX 03 (5829) 3852

発行：日本筆記具工業会 調査研究広報委員会

URL <http://www.jwima.org>

新 年 の ご 挨拶

日本筆記具工業会 会長 数原 英一郎

2023 年の新春にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本筆記具工業会の会員の皆様には、新年をお健やかに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また旧年中は、工業会の活動に格別のご愛顧、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。



昨年の世の中の動きを振り返って見ますと、2 月から始まったロシアによるウクライナ侵攻が長期化しており、2020 年から続いているコロナ禍の長期化とも相まって、資源エネルギー価格や食料をはじめとした物価の高騰、半導体不足による商品の供給制約が世界的に生じるなど、先行きが不透明な状況が続いております。欧米ではインフレ対策としての利上げにより景気後退のリスクが大きくなっており今後の動向を注視する必要があります。また中国ではゼロコロナ政策を継続したことで経済や景気の下押し圧力になっており、都市封鎖によるモノの供給面消費面とも大きなリスクが顕在化しました。また、ゼロコロナ政策の崩壊で今後の先行きは極めて不透明です。

国内経済においても他国の利上げの影響により円安が進み、輸入に頼るエネルギーや食糧をはじめ資材価格や物流費の高騰につながっています。この影響で主に食品を中心とした商品や電気などエネルギーで値上げが進んでおり、今後もしばらくこの状況は続きそうな情勢です。日本では 30 年とい

う長いデフレ経済の状況下で賃金も増えていないという状況での物価上昇であり、これは大変大きな転換点になる可能性があります。OECD 発表の「製造業の名目労働生産性」によると 1995 年＝89,657 ドルで OECD 加盟国の中で 1 位だったのが、2019 年＝95,852 ドルで OECD 平均＝107,932 ドルを下回り、OECD 加盟国 31 か国中 18 位で G7 の中では最下位、と労働生産性で見た競争力が低下してしまっていますので、今後は競争力を高めるための投資を伴うチャレンジが重要になってくると考えます。まだまだ油断は出来ませんが、コロナウイルス対策としてワクチン接種が進み、経済活動が戻りつつあります。経済活性化に伴う需要の増加を期待しつつ、我々筆記具業界もユーザー様に価値を認めていただける商品の提供ができるように、また生産性を向上させて賃金上昇につなげられるように積極的に活動してまいりたいと存じます。

また、国内の活動では環境対策の一環として「プラスチック資源循環促進法」が 2022 年 4 月 1 日に施行されました。この制度は、主に使用するプラスチックの削減とその廃棄物抑制、リサイクルの促進等を目的に制定されております。プラスチックを主たる材料として使用している我々筆記具業界においてもこの法律の求める趣旨に従った活動を行っており、7 月には全文協に協力して『プラスチック使用「文具・事務用品」設計ガイドライン』を制定いたしました。この内容は全日本文具協会 HP 上にて公開しておりますが、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、各会員企業によって環境負荷の少ない商品を提供して行くことが社会貢献につながると考えております。既に私たちはエコマークやグリーン購入法適合商品の充実化を行っておりますが、今後

はSDGsへの取り組みの一環としても製品及び容器・包装の環境配慮設計に更に本格的に取り組むとともに、企業活動や商品の排出する二酸化炭素排出量に関する調査と指導にも取り組み、これらを推進していくことで、国の目標である2050年カーボンニュートラルを目指して参る所存です。

日本筆記具工業会は、販売店の皆様が、会員各社の優れた筆記具を安心してユーザー様にお届けいただけるように、製品安全に向けての対応、環境対応、あるいは知的財産権の擁護など従来の各事業も、関係団体や行政との連携を図りながら積極的に推進してまいりますので、工業会により一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、筆記具工業会会員の皆様のますますのご発展を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

講演会・年末懇親会 3年ぶりに盛大に開催



日本筆記具工業会（JWIMA、数原英一郎会長）は、12月2日午後5時から、東京・上野公園の精養軒で「講演会・年末懇親会」を三年振りに開催した。

講演会は、講師に株式会社マザーハウス・山口絵理子社長（写真）を迎え、“途上国から世界に通用するブランドをつくる～途上国の可能性をモノづくりの力で証明する～”をテーマに開講。

山口講師は、慶応大学卒業後、ワシントンの国際機関でアルバイトを行い、貧困問題に出会う。いろいろな援助が行われているが、本当に貧困のみなさんに届いているのか疑問に思い、アジア最貧国のバングラデッシュの

大学院に留学。バングラデッシュの面積は北海道と同じで、そこに一億二〇〇〇万人が住んでいるカオスみたいなところである。

二年間、大学院生をやり、外でみているのと実際の現場は違うことがわかった。賄賂がナンバー1の国で、この国のいいところはなんだろうと考え、帰国しようと悩んでいた時に出会ったのが黄麻の“ジュード”であった。

麻袋をつくっている工場をみたが、二万人も働いている劣悪な環境であった。給料は二、三カ月支払われないのは当たり前で、そこでストライキが起こる。ほとんどの工場が“ネクストチャイナ”を目指し、人件費が安いことをよしとしている。

これではだめで、付加価値のあるものをつくるのが大事で、いいと思ってもらえるものをつくりたいと、24歳の時に思った。

そこで、帰国後、“途上国から世界に通用するブランドをつくる”をミッションにマザーハウスを設立した。まず、麻袋はチクチクするので、それをどうするのか、素材から検討することからはじめた。

現地にジュードのバッグをつくる工場を探したものの、生産委託ではコントロールが効かないので、自社工場をつくろとしたが、社内で大反対にあった。しかし、原料を持ち込んでみれば逃げられるかわからない工場よりも自社工場のほうが良いと決断した。

しかし、朝9時に来ない、手は洗わない、まっすぐに縫えないと、赤字の垂れ流し状態であった。そこから、従業員の意識を変えようと、まっすぐに縫えるまでやらせ、何とか十六年間やってきた。

いま、自社工場には三〇〇人が働き、一万二〇〇〇個のバッグを毎月出荷している。何とか家族のような工場をつくりたいと思い、がんばった結果、5時過ぎても家に帰らずにうまく縫えるように練習している従業員の姿もみられるようになってきた。

また、現場でデザインしたほうが良いと考え、自らデザイナーになり、型紙を起こした。

いま、直営店四六店舗あるが、当初はセレクトショップなどに販売していたものの、バッグが泣いている状態で、直営店でやろうと決意したものの、手元には二五〇万円しかなかった。そこで、ビ

ジネスプランコンテストに応募して、三〇〇万円の賞金をゲットし、入谷に1号店をつくった。また、陳列棚などもすべて自分たちでつくった。

アジアでも展開しているが、欧米に店舗を持つことが夢である。

また、二〇一〇年にはバングラデッシュの職人を日本に呼んで、日本で感じたことをスタッフに広めてくれ、これがロールモデルとなった。

その後、銀座店でトートバッグを縫う実演販売をして大好評を博した。途上国でつくったものというマイナスのイメージを覆すことができた。また、日本の顧客をバングラデッシュに呼ぶツアーを企画し、日本人観光客が自分たちがつくったバッグを持ってきており、それをみた従業員たちは大変に喜んだ。

このころから従業員たちから“お客のために”という言葉が自然に出てくるようになった。二〇二五年には、バングラデッシュに新工場を立ち上げ、夢の実現に一歩前進する。

少憩後、年末懇親会に入り、西村筆頭副会長が「きょうは、朝からワールドカップをみて元気をもらい、また、講演会でも山口さんのバイタリティや大きな夢の実現に元気をもらった。バングラデッシュで付加価値のあるバッグをつくり、世界で成功を収めている。筆記具も同じで、原価高、円安という苦しい一年であったが、それを乗り越えるには価値を高め、価格も高くしていくことが大きな力になる。筆記具は誰でも持っているが、必要だから持っているのではなく、欲しいから買ってもらっている。みなさんが欲しいものをつくれれば需要は無限に大きくなっていく。日本の技術力は世界一であり、みなさんと一緒に魅力ある筆記具をつくれれば、まだまだ伸びていく」と、あいさつした。北條副会長の首唱で乾杯し開宴、なごやかに歓談した（写真は数原会長、西村、北條、小野各副会長）。



最後に、数原会長が「三年振りにリアルで開催でき、大変にうれしい。日本の筆記具業界は、メーカーと部材メーカーが力を合わせているから強い。これからも競争もするが協調しながら、世界をリードしていきたい。また、リスクをとりながらチャレンジすることが大切で、勇気と決断力と行動力をもって来年もチャレンジしていきたい」と、閉宴のあいさつを述べ、小野副会長の音頭で手締めを行い散会した（文：週刊ビューロウより）。（文具セット写真は講師へのお土産で大変喜び）

会 員 研 修 会 (11/15)

3年ぶりに開催、好評を博す（3Dプリンターとドローンの実力）

本工業会では、会員の皆様への情報提供の一環として、毎年各分野のスペシャリストに講師をお願いし、研修会を開催いたしております。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染予防の為に中止となっておりましたが、本年は3年ぶりに11月15日（火曜）に浅草橋ベルモントホテルにて開催いたしました。3Dプリンターとドローンという現代的なテーマであった為40名近くの参加者でにぎわいました。その後実際講師を訪ねて仕事に生かしていただく会員さんも複数いらして、開催した甲斐がありました。今後も、時代に沿ったテーマで研修会を行いたいと考えておりますので、ぜひご希望のテーマがありましたらお気軽に事務局までご連絡ください。

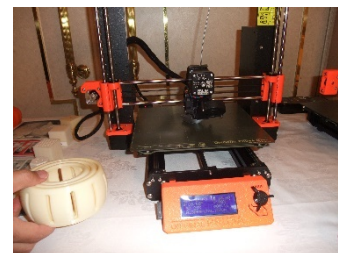
第1部 3Dプリンターの意義と活用

講師 東京都中小企業振興公社 3次元造形指導員

木下 欣也 様



3Dプリンターとは3次元のデータをもとに樹脂の積層などによって立体物を作成できる装置のことです。3Dプリンターは、3DCADで作成された3次元データを読み込み、多くの場合は平面的に出力される材料を積み重ねていくといった方式で立体を造形します。熱可塑性樹脂を使用する方式や、光硬化樹脂を使用する方式などがあります。今まで3Dプリンターは、立体模型やモックアップを比較的短時間で作成できる手段として、製造業をはじめ、建築、デザインなどさまざまな分野で利用されていましたが、現在は既に工作機械の一種として生産にかかわっていたり、医療や宇宙開発の現場では、すでに重要な役割を担ったりしています。



一口に3Dプリンターと言っても、熱溶解積層法、材料噴出法、粉末床溶解法、バインダージェット法、指向性エネルギー堆積法、シート積層造形法



等さまざまな手法があり、それぞれに長所と短所があることを詳細に説明した後、その短所をどう解決しているかを仔細に解説し、その後製造例の紹介があった。その最先端事情について、お話しいただき、現在では大量生産にも応用されており、金属を素材にした3Dプリンターも活用が始まっており、国内でも建物を3Dプリンターで作るところまで来ているとのこと。ますます利用の幅が広がっていくという実に興味深い講演であった。また、興味のある方はぜひ相談に来てほしいというありがたいお話もあった。東京都の相談事業であるため、相談指導は無料で行って

くれる。その他、IoTの効果的な活用例と新しいツールの紹介もあり、活動が多岐にわたっていることが分かった。

【講師プロフィール】大手電機メーカーでICの設計を担当。その間に接した中小企業の社長や技術者の求めに応じて、中小企業の技術的サポートを行うベンチャーを立ち上げ、独立する。その後、それが東京都に評価され、専門的に中小企業の技術的な指導を行う公的支援員となる。現在は、技術革新に有効な3Dプリンターをはじめ、各種IT機器の産業利用を推進している。

ご相談は下記へ（無料） 「日本筆記具工業会の吉田から聞いた」と付け加えていただくと、より一層丁寧な相談が受けられるはずです。

☆=====☆

公益財団法人 東京都中小企業振興公社 多摩支社 三次元造形指導員 木下欣也

〒196-0033 東京都昭島市東町 3 丁目 6 番 1 号

TEL : 042-500-3901 FAX : 042-500-3915

メール : 木下欣也 <k_kishita@tokyo-kosha.or.jp>

<https://tama-innovation.jp/business/business-3d/>

☆===== & TOKYO = ☆

<当日の PP から：筆記具に応用できそうな部分を抜粋>

ペンの設計・試作例 (DfAM)

公益財団法人 東京都中小企業振興公社



2022/11/15

32

コンシューマー向け製品への応用も開始

金型研削 東京都中小企業振興公社



2022年10月25日 日経
日本特殊陶業、米Sakuuへの全固体電池の材料供給で提携



2021年10月25日
「シャネル」から初のパーソナライズドマスカラが登場



2022年8月2日 日経
アシックス、3Dプリンターでサンダル 数式でデザイン



2022年6月10日 日経
大林組、3Dプリンターで建物 鉄骨用いざ基準法クリア
2022年10月24日
高島屋、福袋に3Dプリンター住宅 330万円で限定1棟

2022/11/15

35

第2部 ドローンの意義と活用

救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会

理事長 稲田 悠樹 様

現代日本はとてつもない速度で進化し、そのテクノロジーは魔法のように、物理世界を席卷し「変革」してきました。しかし、まだ助からない命について、できることがあります。救急・救助、火災（警防）の世界に、あらゆるハイテクやICTが投入され徐々に変革が起きています。

IoT、ウェアラブル、クラウド…そしてドローン。一定のリスクを伴うドローンの使用は、その効果があるものの、悪用の事件により躊躇され、いくつかの消防組織のみの配備にとどまっています。我々は、発見できなかった命の危機をIoT・ウェアラブルで検出し、クラウドでコントロールされた無人機との連携で、航空支援を行うICTシステムを実現し、救命の連鎖をハイテクで補完します。

その新たなる「変革」の為に各分野のプロフェッショナルを集め「プロジェクト・ヘカトンケイル（百腕巨人プロジェクト）」をスタートさせ、そのプロジェクト推進のため、「一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会」を立ち上げました。



このプロジェクトが大切な労働人口の減少を食い止め技術立国日本を再興し活性化していく良循環に繋がるものとして、新たな第一歩を踏み出します。

【講師プロフィール】

熊本生まれ熊本在住。2015年にドローン事業で独立。九州をメインにPV,CM,テレビ番組等の空撮を行う。その他、災害時の被害調査、実証実験、システム開発などのテストパイロットなども行う。

消防庁、熊本県南小国町、益城町などとのドローンの利活用に関する協定締結。災害調査：熊本地震、令和2年7月豪雨など。

＜当日のPP から。工場のメンテナンスに應用＞



2023年 5月の総会日程が決定 (2023年5月24日(水曜) 上野精養軒にて)

2023年度総会は、2023年5月24日(水曜)、17時より、上野精養軒にて開催されることが決定しました。2022年12月の講演会・年末懇親会(写真)で使用した「桜の間」(2分割して使用)が好評だったため、総会もここを利用し、ソーシャルディスタンスを守るために、従来の立食形式はやめ、円卓に人数少なくゆったり着席しての会食となります。



委員会・部会の活動の様子 (2022年4月から)**＜総務委員会＞**

10月18日など3回実施(対面)

**＜お客様相談室連絡会＞**

12月13日など2回実施(web)

**＜製品安全小委員会＞**

11月24日など3回実施(web)

**＜事務用修正液(S6055) JIS 改正本委員会＞**

12月8日など分科会合わせて2回実施(混合)



2019～2022年 月別販売数量比較（1月～10月） コロナは一息ついたが!!

雑種・生活用品統計(旧雑貨統計)より

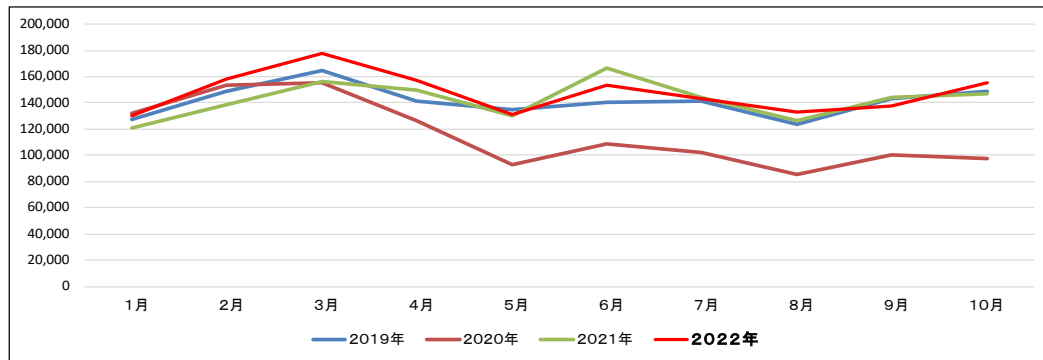
※国内向け販売と輸出向け販売を含む。出荷と同じ。

単位:千本

品種・年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	
ボールペン	2019年	127,094	148,618	164,678	141,719	134,543	140,219	141,583	123,893	143,313	148,738	1,414,398
	2020年	132,397	153,753	155,071	126,896	92,409	108,287	102,151	85,538	99,880	97,066	1,153,448
	2021年	120,776	138,797	155,860	149,400	129,814	166,537	143,807	126,850	144,580	146,574	1,422,995
	2022年	130,574	157,898	177,620	157,536	131,010	153,418	142,958	133,014	137,453	155,527	1,477,008
品種・年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	
マーキングペン	2019年	76,570	82,264	95,310	85,596	69,647	77,083	85,028	71,899	76,201	72,896	792,494
	2020年	73,237	77,834	82,231	69,804	52,295	62,828	66,750	55,108	62,837	62,990	665,914
	2021年	58,597	68,366	86,081	78,200	63,531	69,265	65,183	58,665	74,321	73,503	695,712
	2022年	68,916	74,097	92,354	73,352	67,404	76,951	70,327	72,244	74,770	75,597	746,012
品種・年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	
シャープペンシル	2019年	9,925	11,761	13,532	9,745	9,075	10,182	9,700	8,781	8,599	8,852	100,152
	2020年	9,741	11,482	9,345	7,574	7,303	7,816	6,300	5,587	6,659	7,650	79,457
	2021年	7,022	8,619	9,897	9,290	7,555	8,513	7,827	6,147	6,903	8,327	80,100
	2022年	8,505	8,754	11,736	8,631	7,800	9,742	8,877	7,757	7,856	9,555	89,213

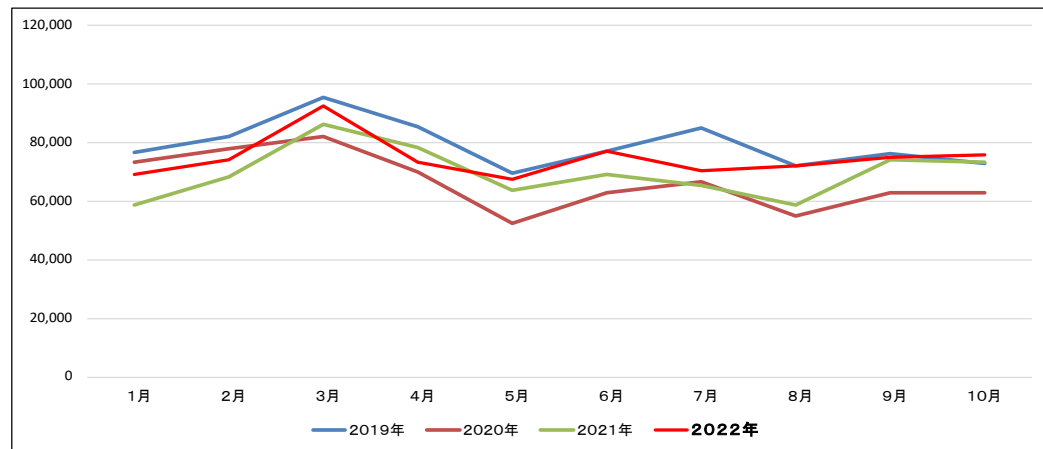
(1) ボールペン

合計で2019年に追いついたが、伸び悩み感が、、、



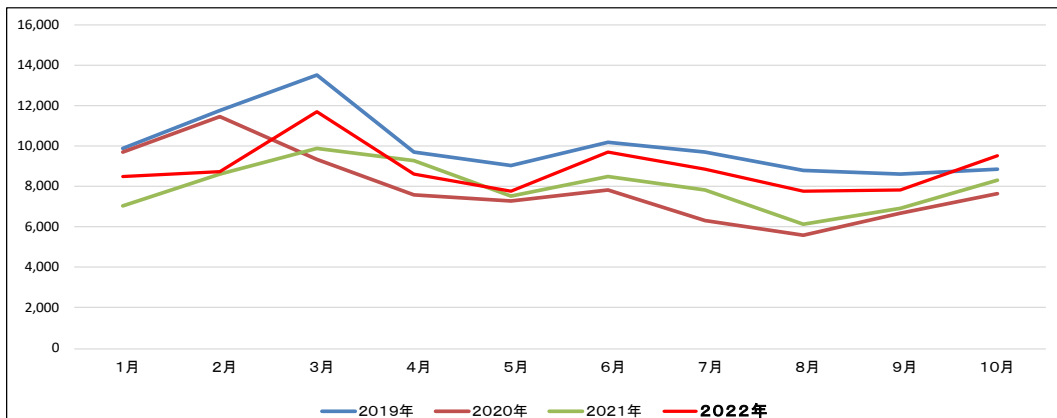
(2) マーキングペン

2019年にもう一歩



(3) シャープペンシル

2019年に迫る勢い、もう一歩



以上